

コスト構造を把握し、利益を生む商品と改善の優先順位を明確にしよう

企業が持続的に成長し、利益を確保するためには、コスト構造の把握が不可欠です。特に、価格転嫁を適切に行うためには、どの商品が利益を生んでいるのか、どの部分にコストがかかっているのかを明確にする必要があります。本コラムでは、「商品別採算分析」や「商品構成」の視点から、コスト構造を把握し、伸ばすべき商品や改善の優先順位を明確にする方法について解説します。

1. 商品別採算分析で収益構造を把握する

会社の売上・費用・利益を商品ごとに細分化して採算分析をすることで、どの商品が利益を生んでいるのか、改善が必要なのかを把握することが重要です。

例えば、売上が高くても利益率が低い商品があれば、価格転嫁が必要か、コスト削減の余地があるかを検討する必要があります。一方で、売上は低くても利益率が高い商品があれば、その商品を重点的に拡販する戦略も考えられます。

また、各商品にかかる原価や間接コストを細かく分析し、利益を圧迫している要因を明確にします。例えば、仕入れコストの上昇、物流費の増加、人件費の負担が利益を圧迫している場合、それらのコストを価格に転嫁できるか、または別の方法で最適化できるかを検討する必要があります。

2. 商品構成を最適化し、安定的な利益創出を目指す

商品別採算分析を行った後、次に検討すべきは利益を安定的に生み出す戦略です。提供する複数の商品の構成を最適化し、利益の最大化を目指しましょう。

(1) 価格転嫁しやすい商品を見極める

価格転嫁を行う際には、競争環境や顧客の受容性を考慮する必要があります。価格に対する顧客の敏感度が低く、差別化要素のある商品は、コスト増加分を適切に価格に反映しやすい傾向にあります。一方で、競争が激しい市場では、値上げが難しく、コスト削減や生産効率の向上が求められます。

(2) 利益率の高い商品を強化する

商品ごとの利益率を比較し、利益率が高い商品を重点的に拡販する戦略をとります。例えば、付加価値の高い商品、オーダーメイド品、アフターサービス付きのパッケージ商品などは、価格競争に巻き込まれにくく、高い利益率を確保しやすい傾向にあります。

(3) 低利益率商品は改善か撤退を検討

利益率の低い商品に関しては、コスト削減の余地があるかを分析し、それでも利益が確保できない場合は、商品ラインナップの見直しも視野に入れます。また、セット販売やクロスセル戦略を活用し、単体では利益が出にくい商品を他の商品と組み合わせて販売することで、全体の収益性を向上させることも有効です。

3. コスト構造を改善し、価格転嫁を進める

最後に、コスト構造を把握した上で、どの部分に改善の優先順位をつけるべきか、価格転嫁をどのように進めるべきかを整理します。

(1) コスト削減の優先順位を決める

コストの中でも、削減可能なものと難しいものを区別することが重要です。例えば、固定費(設備費や人件費)は短期的に削減が難しいため、変動費(原材料費や物流費)の見直しから着手すると効果が出やすいです。また、業務の効率化やデジタルツールの活用により、間接コストの削減も検討すべきポイントです。

(2) 価格転嫁の進め方

価格転嫁を成功させるには、単なる値上げではなく、顧客に納得してもらうための説明が不可欠です。原材料費や人件費の上昇に伴い、価格調整が必要であることを丁寧に伝え、顧客が理解しやすい形でコミュニケーションを図ることが重要です。加えて、値上げに対する付加価値の提供(品質向上やサービス強化など)もセットで考えることで、顧客の納得感を高められます。

まとめ

価格戦略には市場動向や顧客ニーズを反映し、競争力を高めるマーケティング視点が求められます。その前提として、コスト構造を把握することは、単なるコスト削減のためではなく、企業の成長戦略として不可欠です。

1. 商品別採算分析を行い、どの商品が利益を生んでいるかを明確にする。
2. 安定的な利益創出に向けて、利益率の高い商品を強化し、低利益率商品の見直しを行う。
3. コスト構造を最適化し、価格転嫁の戦略を立てながら持続的な利益確保を目指す。

中小企業が適切に価格設定を行い、持続的に成長するためには、コスト構造を正確に把握し、伸ばすべき商品や改善の優先順位を明確にすることが重要です。「儲かる経営 キヅク君」を活用し、自社のデータを基に戦略を立てることで、より確実な経営改善が可能になります。

【記事執筆者】小櫃 義徳 (中小機構 中小企業アドバイザー)

民間企業数社で BtoB 深耕営業、新規開拓営業の立ち上げ、地域特性に応じた販売戦略の立案実行に従事。その後、中小企業診断士を取得し、組織活性化や営業力・販売力強化支援を中心として活動するほか、経営革新計画策定や施策活用など経営全般について幅広く支援。